



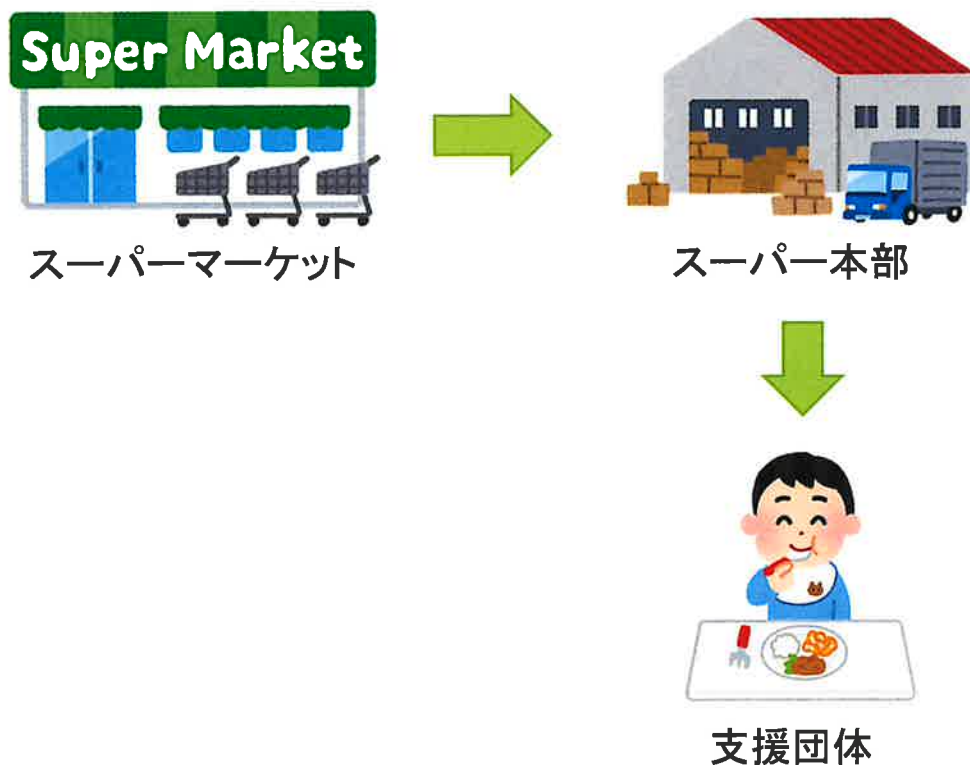
ハローズモデルの活用で 急激に取扱量が増大した FBアリスの事例

令和2年10月29日 株式会社ハローズ

1.フードバンクアリスの概要

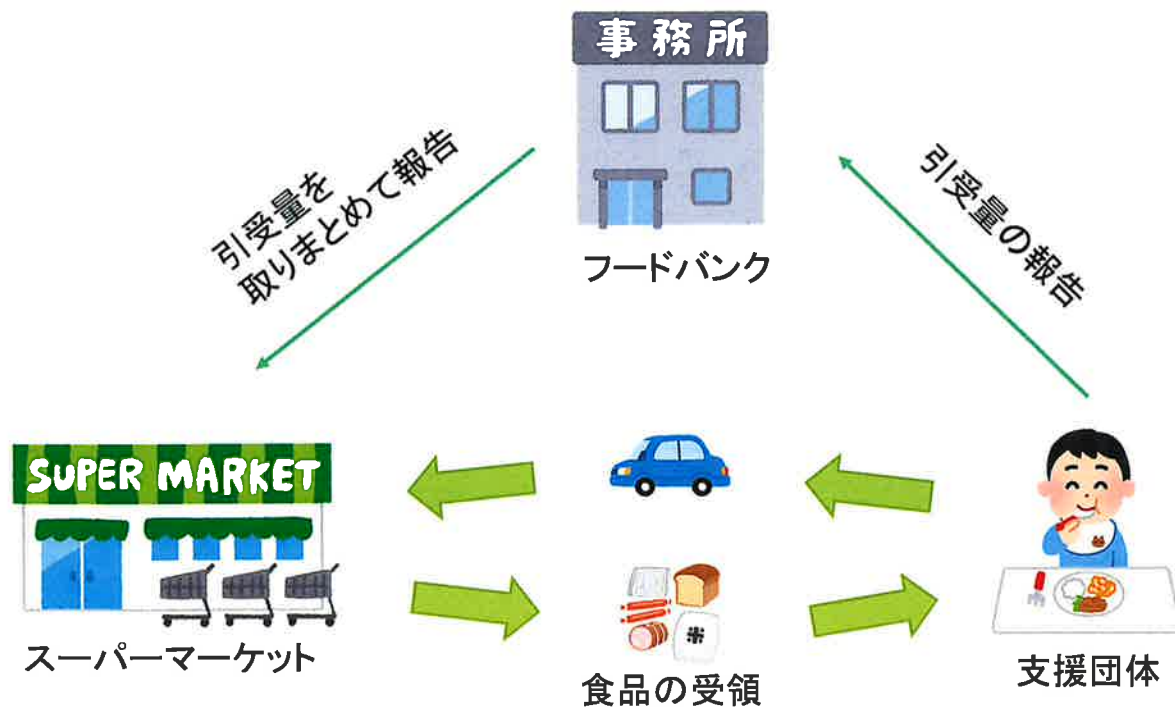
- 設立 2017(平成29)年9月
- 代表 稲見 佳子
- 経歴 岡山市エコ技術研究会理事を17年間務め、食品ロス削減講座の実績多数。他市との交流も盛ん。食品のみならず、あらゆる廃棄物の削減を目指す。
- 運営 一般社団法人アリス福祉会（岡山県倉敷市）国内初の障害者就労支援施設によるフードバンク
- 年間引受量 54トン 2019(令和元)年実績

2.従来のフードバンクは...



- スーパーの店舗より本部へ食品を集約した後、支援団体へ引渡していた
- 全国多数の団体が実施しているが、提供までに時間差があり生鮮品の提供は難しい
- 概ね1ヶ月程度賞味期限が残った商品

3.ハローズモデルの紹介



- フードバンクと契約を締結した子ども食堂等の生活支援団体が、近隣のスーパーへ直接引取に向かう。
- 提供商品：
乳製品・大豆製品・麺類
青果・漬物・加工肉等
デイリー商品
- 消費期限当日でも提供可

4.ハローズモデルの開始時期

- 2017年11月、倉敷市内5店舗よりFBアリスへ提供スタート。
月間500kg、90ケース。
- 2018年3月、倉敷市内全8店舗＋岡山市内5店舗へ拡大。
月間2トン、350ケース。
- 2018年7月～ 岡山県内全25店舗で常温品の提供を順次開始。
社会福祉協議会等、生活支援団体が中心。
- 2019年3月～ 上記全25店舗で日配品の提供を順次開始。
自前調理を行っている福祉施設等へ提供。

5. 同業他社への波及

- 山陽マルナカ 2017年11月より岡山市内2店舗でスタート
岡山・広島44店舗、引取5団体 月間400kg
- 天満屋ストア 2017年11月より岡山市内3店舗でスタート
岡山・広島・鳥取の全45店舗、引取12団体 月間400kg
- 両備ストアカンパニー 2018年2月より全8店舗で提供
引取3団体 月間50kg
- フレスタ 2020年2月より岡山県内全4店舗で提供
引取3団体 月間40kg
- 常温品を提供いただいているが、菓子・食玩・雑誌付録等もあり
児童施設・子ども食堂に大変好評

6.スーパー以外への拡大

- 山崎製パン

発酵ロットの都合で出る余剰分を週1回、15kg提供。



- 魚宗フーズ

製造ラインの都合で出る巻き寿司の余剰分を週3回、30kg提供。



即食性が高いため提供先には人気がある。

7.提供先全リスト

社会福祉協議会	更生保護施設・ダルク	障害福祉施設
岡山市社会福祉協議会	古松園	アリス福祉会
赤磐市社会福祉協議会	美作自修会	ドルフィン福祉会
	岡山ダルク	ゆりか
フードバンク	更生保護施設等支援協議会	ハウメイ
順正DFKクラブ		
フードバンク東備	児童・母子支援施設等	子ども食堂
フードバンクせとうち	児童家庭支援センタークムレ	かがやきっず
フードバンク福山	子ども家族生活サポートセンターいとでんわ	ひかり
フードシェアリングジャパン	児童養護施設わかば園	さいさい子ども食堂
	母子生活支援施設のぞみ	津高子ども食堂
生活支援団体	ドルフィン・キッズ保育園	赤磐子ども食堂
倉敷市生活自立相談支援センター		おひさまクラブ
おかやまUFE		

8.無料ストアの実例紹介

2ヶ月に1回、倉敷市西阿知の寺院 神遊山遍照院にて無料ストアを実施。住職講話、稲見代表の講演の後、食品を無料配布。食品は毎回数分で全てなくなる程好評。



9.平成30年西日本豪雨への支援

フードバンクアリスでは発災直後より倉敷市真備町地域を中心に独自の支援活動を展開し、多くの食品を直接配布により提供した。

水没したスーパーの商品を1店丸ごと引き取り、ボトルや缶などのまだ食べられる商品は洗浄して提供した。

2年後の2020年まで地元のボランティア団体と協力しながら食品を提供した。



10.最新の引取事例

- 日本アクセス岡山支店
(食品卸大手)

出荷期限を過ぎたり、外装の傷んだ商品等を月間1トン提供。

チルド食品、業務用冷凍食品等が中心。



11.最新の提供事例

- 更生保護施設

身寄りのない刑期終了者等が入所する施設。

更生保護施設等支援協議会(津山市)の仲介により、古松園(岡山市北区)、美作自修会(津山市)へ食品を提供。

運営は寄付金に頼っている施設が多く、スーパーより多様な食材を受け取れると喜ばれている

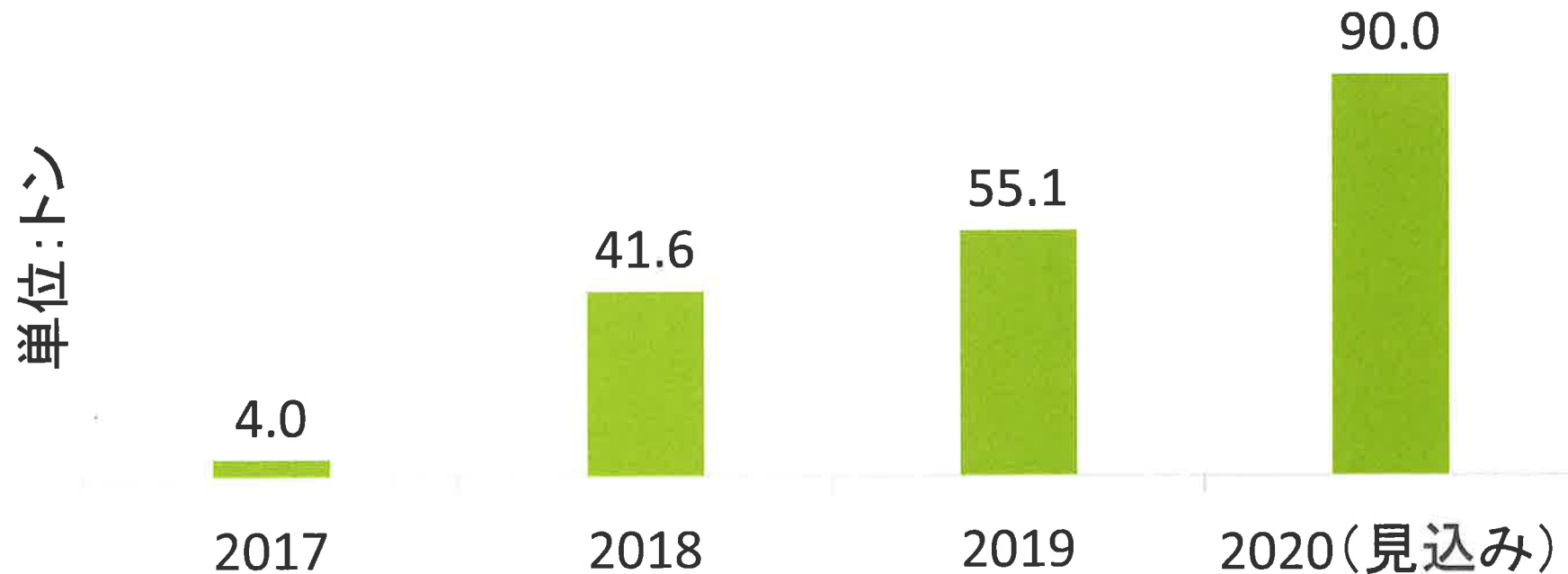
- ダルク

薬物・アルコール依存症からの脱却を目指すグループホーム。岡山ダルク(瀬戸内市)が近隣のハローズより食品を引取。



12.年度別引取量グラフ

フードバンクアリス引取量推移



13. 取扱量の元売価換算

ハローズ出店エリア全体では2019年実績で100トン提供しており、
取り扱い商品の売価はおよそ1g=1円なので元売価に換算すると
1億円となる。

先程のフードバンクアリス2019年実績55.1トンから換算すると
5,510万円分受領したことになる。



14.むすび

フードバンクアリスでは岡山県内8割超のスーパーにご協力いただいています。

食品小売業だけではなく、食品製造業、卸売業、飲食業などからも日々食品ロスが発生しています。

また新型コロナ禍で航空会社、給食センターなど多様な業種の方々との取引が成立しました。

食品ロス削減を、食品を扱う全ての方々と問題意識を共有し取り組ませていただければと存じます。

ご清聴ありがとうございました。